

消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

【事例概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	緊急車両接近時の押しボタン式横断歩道における、小学低学年生徒の動向。
3. 体験した事例の中心的要素	小学生が緊急車両を認知したのを確認しても、念のため機関員が発進しないで危険回避。
4. 体験した事例の原因・理由	小学生は教えられたとおり信号を守っており、優先順位の判断が未熟で出来ない。

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	
------------------	--

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成 18 年 4 月 25 日 午後 1 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させた。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	
7. 事例体験時の活動	救急、出動途上 []
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	その他：現場に向かう途中の見通しの良い横断歩道。
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに1, 2回程度体験している。

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[49]歳、勤続年数[25]年、現場経験年数[24]年、階級[消防司令補]、同様の活動[過去に1,2回程]、任務[その他:救急専属隊長]
○当事者B	年齢[34]歳、勤続年数[16]年、現場経験年数[16]年、階級[消防士長]、同様の活動[初めて]、任務[機関員]
○当事者C	年齢[31]歳、勤続年数[13]年、現場経験年数[13]年、階級[消防士長]、同様の活動[初めて]、任務[隊員]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	隊長Aが	横断歩道の赤信号と左手の小学生を確認	
経過2	機関員Bが	赤信号で一旦停車し安全確認	
経過3	隊長Aが	小学生と視線が合い、緊急車両の認識をした	
経過4	機関員Bが	ブレーキを緩め、ATの惰力で動き出した	
経過5	小学生が	横断歩道を急に渡りはじめた	
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

危険情報を把握、予見できた。危険事象の対応方法を知っていた。集中力、注意力があった。周囲の視界が確保できていた。指揮者が適切に指示した。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

はい：小学校低学年の生徒は状況判断に乏しく、緊急車両のマイク放送も理解出来ていない様子であった。
--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について